

# hot news 高専・高看大学化の提言まとまる

## ●地域社会に貢献する4年制大学を



12月9日に行われた大学化懇話会。11月に募集した市民意見を踏まえ、最終提言をまとめました

の育成を目指す。

### ■地域貢献

「産・看・学・公」の緊密な連携を通じて、市民や地域社会に大きな貢献を果たす。また、「看護・デザイン共同研究センター（仮称）」を設置し、デザインや保健・医療・福祉に関連する産業の振興や競争力の高い地場産業の創出にも取り組む。

### ■設置・運営

市民に開かれ市民が支える大学を目指し、運営に学外者の意向を反映できる仕組みをつくるほか、効率性・透明性・柔軟性の高い形態をとる。

### ■校地・校舎、開学時期

既存の高専（南区芸術の森一）と高看（中央区北一一西一三）の施設を有効活用する。開学時期としては、できる限り早期の開学を目指す。

この提言を受け、今後、市ではより具体的な検討に着手します。

提言書とその概要版は、市役所五階プロジェクト担当課と区役所広聴係で配布中のほか、ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/dagakuka/> でもご覧いただけます。

【詳細】プロジェクト担当課 ☎(211) 2182

※産・産業界、看・看護を中心とした保健・医療・福祉分野、学・大学など、公・行政・NPOなど

### 【4年制大学の基本理念】

“国際的な視野を持ちつつ  
地域社会への貢献を果たす”

理念1 人間重視を根幹とした世界に通用する人材の育成

理念2 大きなネットワークを持った発展性のある大学

理念3 デザインと看護の連携を通じた新領域の先駆者

デザイン系市立高等専門学校（高専）と、看護系市立高等看護学院（高看）の4年制大学化について、その必要性と方向性を検討してきた大学化懇話会（座長・北海道大学大学院教授、内田和男氏）がこのほど市に対する提言をまとめました。同懇話会は、両校の大学化に関する市民議論の中心役割を担い、一年間にあたって審議を重ねてきました。提言の要点は次の通りです。

### ■大学化の意義

学術研究の高度化と新しい研究領域の誕生に伴い、職業人にもより多くの能力が要求されるようになった。とりわけ、デザイン・看護といった専門職の領域ではその傾向が顕著であるため、知と創造の拠点となる4年制大学の設置を目指すべきである。

### ■教育研究

デザイン系学部（入学定員百人・二学科程度）と看護系学部（同八十人・一学科）の二学部を設置し、幅広い能力を備えた実践的な専門職業人

## hot news

# 市営バス全路線を段階的に民営事業者へ移行

## ●運行経路・便数・運賃はそのまま

今年四月と、来年四月の二回に分け、すべての市営バス路線を民営バス事業者に移行します（左表）。

市では、これまでバス事業の経営健全化に努めてきました。しかし、利用者の減少傾向が続いていることや、自由競争を原則とした規制緩和が実施されたことなどから、事業を取り巻く環境は大変厳しくなっています。全面移行は、こうした状況を踏まえ、学識経験者や公募委員からなる市営企業調査審議会の意見など

【詳細】自動車部業務課路線再編担当 ☎(896) 2738

### ■移行路線の概要

移行時期	移行路線名	現行営業所	移行先事業者名
平成15年4月1日	山の手環状線、西25丁目線、荒井山線、ロープウェイ線、旭山公園線、動物園線、山の手線、琴似西野線、琴似発寒線、北24条線、桑園福井線、山鼻環状線、西野福井線、西野平和線、西野第二線、啓明線、北5条線、北7条線、新琴似線、工業団地線（学生増発便のみ）	琴似営業所	ジェイ・北アールバス
	真駒内線、平岸線、中の島線、中の沢線、藤野線、藻岩線、南沢線、北の沢線、藻岩山手線	藻岩営業所	じょうてつバス
平成16年4月1日	苗穂線、札幌線、丘珠線、本町線、苗穂北口線、伏古線、伏古札幌線、北札幌線、元町線、丘珠北34条線、札幌新道線、ファクトリー線	東営業所	北海道中央バス
	工業団地線、新川発寒線、北桑園線、新道西線、新川線、新琴似2条線	新川営業所	